

武蔵野市議会議員 島崎義司



武蔵野かわら版

☆島崎義司の市政レポート

平成15年1月号

発行:武蔵野市議会議員 島崎義司 E-mail: yoshiji@parkcity.ne.jp

〒180-0022 武蔵野市境1-3-4-403 TEL&FAX: 54-8180

◎毎日更新ホームページ <http://www.parkcity.ne.jp/~yoshiji/>

新春にあたり皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

武蔵野かわら版 目次

☆ごあいさつ	Page 1
☆平成14年 第四回定例会トピックス 責任ある資源循環型社会を目指して	Page 1~2
☆島崎義司の議 <small>このまち</small> 私がめざした武蔵野市の“かたち”	Page 2~4
☆JRより 武蔵境駅 『新駅舎デザイン(案)』示される	Page 4
☆島崎義司プロフィール	Page 4

おかげさまで議会活動も4年が経とうとしております。この間に行われた15定例会中、私は、9回の一般質問と1回の代表質問、13回の本会議での討論と、そして、全ての予算並びに決算特別委員会の委員を務めさせていただき、行財政改革、議会改革、高度情報化の推進、健康、福祉、環境、まちづくり、商業活性化、安全対策、教育問題、子育て、家族の絆、国民・市民の誇りと自信の回復、などなど、多岐にわたる市政やそれにつながる政治課題について、質問・質疑を通じて徹底的に議論し、政策提言を積極的に行なってきました。

もちろん、いまだ満足とは言い切れませんが、職員定数適正化と民間委託の促進、議会のホームページ開設と議会報の刷新、市のホームページの充実と利活用の推進、ムーバス・O123施設・公園等の増設整備、学校週5日制への対応、JR高架事業における武蔵境駅舎へのエレベーター・エスカレーター設置、空店舗利用など、責任ある議論で市政は着実に前進したと確信しております。

私は、さらに納得できる“このまちのかたち”を目指して、市民の皆さんの声をいただきながら、市政を、前へ、前へ、と進めて行きたいと思っております。ご意見ご要望をお待ちしております。

武蔵野市議会議員 島崎義司

☆平成14年第四回定例会トピックス 責任ある資源循環型社会を目指し

12/3(火)から12/18(水)まで開かれた市議会第四回定例会では、市長提出議案12件のほか、陳情、議員提出議案が多数提出されました。そのうちのひとつ、市民の党から提出された『東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合の進めるエコセメント事業の凍結に関する意見書』は、今までの三多摩各市や市民のごみ問題への取組みや経緯をないがしろにする無責任な意見書で、私は、処分組合議会に武蔵野市議会を代表して出ている立場からも、この意見書を通すことは断じてあってはならないと考え、反対討論を行ないました。なお、この意見書を提出した市民の党は、平成12年3月3日の代表質問で「資源循環を目指して市役所となりの市民公園などに保管庫を作り(焼却灰)保管を研究せよ」という驚くべき党見解を述べていました。

◎平成14年第4回定例会【12/18(水)本会議】

『東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合のすすめるエコセメント事業凍結に関する意見書』への反対討論

市民の党より提出されたこの「意見書」では、①エコセメントの安全性が保証されたと断定できない ②事業は、300億円を超える建設費と毎年の維持費がかかり、構成自治体の負担金増加となる ③負担金の試算が示されず説明責任を果たしていない ④通常のセメントより高額のエコセメントの販路を自治体に求めれば公共事業のコスト高を招く ⑤焼却灰を必要とする

エコセメント工場建設よりも、ゴミの減量や無害化を目指す自治体や市民の取り組みに力を入れよ…

というもので、一見、もっともらしい主張にみえますが、これは事実認識もはなはだしく、いたずらに市民の誤解や不安を煽り、来年の選挙活動にでも利用しようとする魂胆がみえみえの、悪質な意見書といえます。

私は、この意見書への反対の論旨として、
◇現在の「二ツ塚処分場」は平成13年度末までに既に全埋立量の約4分の1が焼却灰や不燃物で埋立



てられており、このままでいけば平成25年度には二ツ塚は満杯となって、新たな処分場確保は極めて困難であること。

◇組合を構成する各市町村には、家庭ごみの有料化などで一層のゴミ減量に取り組む自治体もあり、本市でも、資源物の分別収集・拠点回収、廃棄物再生、桜堤団地コンポスト導入による生ゴミ堆肥化、多量排出事業者には廃棄物再利用計画の提出を求めると、さまざまな取り組みで、平成12年度における多摩地域のゴミの全排出量に占める総資源化率は24.7%と全国平均の約2倍で極めて高いレベルにあること。

◇それでも出てくる焼却灰・廃棄物については責任ある新たな対応が求められていること。

◇エコセメント事業は、千葉県で平成13年度から取り入れており、実際に操業している市原エコセメント(株)でも製品の普通セメントと同レベルにあることは実証済みであること。

以上の経緯を踏まえながら、この意見書が求める「エコセメント事業凍結」に、下記の通り逐次反論して行きました。

① 世界水準JISが認定

「安全性」については、日本工業規格(JIS)が認定した製品であり、JIS化にあたっては溶出試験で土壌環境基準、水質基準をクリアしています。廃棄物学会でも日・米・欧各国方法で酸性雨の影響も考慮した重金属類溶出試験を行い、普通セメントとエコセメントの重金属含有量比較では、種類によってはエコセメントの方が多く含有しているものもありましたが、全体としては普通セメントよりも含有量が少ないという報告書が提出されており、エコセメントの安全性に“疑問あり”とするならば、現在使われているセメントも試験結果から言うと使用できないということになります。

② 循環型社会構築の為の社会的コスト

「建設や維持が高コスト」という指摘は、三多摩のゴミ事情や最終処分場の現状を無視した、極めて近視眼的で市民をミスリードし、政治(選挙)目的でも利用しようとする悪意に満ちた議論です。



エコセメント事業は、営利目的ではなく、廃棄物の再資源化と二ツ塚処分場の延命化が主目的で、事業コストは循環型社会を構築する為の社会的コストと言えます。

③ 事業計画の情報提供は適正妥当

「負担金増加の試算、説明責任が不十分」という指摘については、平成14年7月の「事業実施計画」に負担金の考え方や計算方法が示されており、国の補助金額や搬入重量が決まれば、自ずと金額は出ます。更に、この事業実施計画は、処分組合ホームページでも全文掲載され、明確に説明されています。

④ エコセメントの販売価格は通常セメント以下

「高額のエコセメントが公共工事のコスト高を招く」という批判は、まったくの事実誤認であり、市原のエコセメントは、普通のセメントと同等以下の価格で販売され、公共工事への負担増は全く生じていないと報告されています。

⑤ 意見書の政治(選挙)目的は明白

「組合はゴミ減量や無害化を目指す自治体や市民の取組みを検討せよ」という指摘については、処分組合は地方自治法第284条第2項に基づき「一般廃棄物広域処分場の設置及び管理」を事業目的として設立されたもので、市民の取組みを直接検討・指導するものではありません。ただ、構成する各市町村に対しては平成10年に「第2次廃棄物減容化基本計画」を策定し、搬入量制限値の設定、資源ごみ収集強化や不燃物の分別徹底の提案、更には、減容量量に応じた負担金の軽減措置なども行ない、ごみ減量とリサイクル推進を促していますが、それでも廃棄物は発生しているのが現実です。

この意見書のような、対案性の全くない、問題解決にも一切つながらない、市民に誤解を与え不安を煽って政治(選挙)目的に利用しようとしていることは明白で、三多摩各市や市民のこれまでの努力をあたかも否定するような、ゴミ問題を到底まじめに考えているとは思えないこの意見書には、断固反対の討論を致しました。

このまち

☆島崎義司の議

私がめざした武蔵野市の“かなた”

私は4年前、①議会の情報公開と議員定数の削減 ②民間経営の視点に立った徹底した行財政改革 ③商業振興と地域活性化 ④高度情報通信ネットワーク構築でマルチメディア先進都市の実現 ⑤廃資源の減量化、水辺環境の整備 ⑥リハビリ施設・補助器具の充実とまちのバリアフリー化、家にこもりきりにならない環境づくり ⑦乳幼児育児支援、医療費助成拡充、子育て支援施設の整備 ⑧義務と権利の正しい教育、真の国際人育成 などを掲げて市議会議員になり、これをベースに議会活動に邁進してきました。

ここでは、昨年1年間の活動を定例会ごとにダイジェストでご報告させて頂き、質疑の詳細やそれ以前の活動については、私のホームページ<<http://www.parkcity.ne.jp/~yoshiji/>>などでご覧いただければ幸いです。

◎平成14年第4回定例会【12/3(火)～18(水)】

一設質問 【12/3(火)本会議『家庭保育支援』等について…近年の男女共同参画の流れは、いつしか本来の趣旨を逸脱し、配偶者特別控除や各種控除の撤廃など、税制においても女性のライフスタイルの変革を迫り、家庭保育の重要性が危機的状況に置かれつつあります。

私は、①税制論議への市長会の動向 ②子育て家庭への経済支援の考え方 ③芸術文化事業の子育て家庭対応 ④文化事業団のホームページ開設…などについて質問しました。
『教育の正常化』について…4月から始まった学校週五日制な

ど、教育をめぐる環境は劇的に変化し、長年続いたながら条例なども社会的な批難を受け、東京都でもやっと改善の方向へと向かうことになりました。これを機会に、私たち地方議員は徹底した市民の目線で、長年続いた組合との馴合い、悪慣行の排除に目を光らせなければなりません。

私は、①本年度から都が不承認を通達した組合の教研集会を、本市では10月、承認研修として認めた経緯 ②都教組作成の教職員名簿全校分購入の不自然さ ③市民に“教員のさぼり”と誤解を与えた、教育委員会主催の武教研全体講演会終了後の教員の職務専念義務 ④都のながら条例見直しに対

する本市の対応…などについて質問しました。

◎平成14年第3回定例会【9/5(木)～10/4(金)】

決算委質問

【9/25(水)～10/2(水)平成13年度 決算特別委員会】…今年から審査が1定例会早まり、当該年度の市の事務や事業が適正に行われたかを審査するのはもちろん、本審議が次年度の予算編成に、より活かせるようになったため、審議にも熱が入りました。なお、私は、本決算特別委員会にて副委員長を務めました。

以下、私の質問内容のみ、簡略に紹介させていただきます。

◎『職員の市民に対する姿勢』…あまり顔を知られていない1年生議員だからこそ一市民レベルで感じる、およそサービスとは程遠い市役所の窓口対応の改善について求めました。

◎『議会の情報基盤整備と市民への議会情報提供のあり方』…高度に発達した情報化社会の中で、最も情報が集積されるべき議員の共同控え室に、高速インターネットの接続環境がありません。議会中継なども、現在は代表質問をCATV放送していますが、今後はその他の議会の模様もホームページ等でストリーミング放送すべきと求めました。情報は生き物であり即応性・速報性が重要です。

◎『行政を進める『男女共同参画』『ジェンダーフリー』について』…市が作成した女性行動計画や市委託の男女共同参画情報誌では、男性の家事や育児の均等分担などを求めています。夫婦間の協力は重要ですが、しかし、これはよく考えてみれば、個々の家庭内で合意されるべきで、行政から言われるべきことなのでしょうか。男女の特性を大切にしながら機会の平等を図ることこそ必要で、時流に阿る“安易な男女同質論”は戒めるべきと主張しました。

◎『教科書採択事務の改善点』について…当該年度は小・中学校の教科書採択が行われ、特に、歴史分野の特定の教科書について、一部左翼の組織的な妨害活動や、不当にも審議に圧力をかける極左偏向市議らの動きが本市でもあったことは周知の事実です。そこで、教育長会議などで採択日を都内一斉にするなど、採択事務の改善が必要であり、教育長に考え方を質しました。

◎その他、『長期休業中の教員の勤務体制』ながら条例の運用実態』『学校現場での男女平等教育のあり方』などについて質問を行ないましたが、他定例会での質問とも重複しますのでここでは割愛します。

討論

【10/4(金) 本会議】『北朝鮮による日本人拉致事件の真相の徹底説明を求める意見書』への賛成討論

9/17の小泉首相訪朝で、北朝鮮側が拉致実行をついに認めました。隣接市である三鷹市役所の元警備員も拉致被害者として政府に認定されていることから、私は本意見書への賛成討論を行ない、改めて事件の徹底説明を求めました。

尚、国交のない北朝鮮を親善訪問して社会(思想)勉強をし、「歴史教育の際は、日本が戦争時行ったこと(悪行)をもっと子どもたちに教えよ」「国(日本)を愛する必要は全然ない」と一般質問で教育長に迫っていた“市民の党議員”や、3月、まだ北朝鮮は拉致を認めず日本政府は認定していた段階での「真相説明決議」の際、こそこそと議場を抜け出した“共産党議員”なども、今回はさすがに本意見書に賛成していました。

◎平成14年第2回定例会【6/7(金)～27(木)】

一般質問

【6/7(金) 本会議】『商店街振興対策とTMO設立』等について…武蔵境駅前では大型店舗への集客集中現象、路線商店街にはコンビニエンスストアが市内くまなく展開され、個人商店をとりまく商環境には厳しいものがあります。



私は、①路線商業活性化のための今後のスケジュール ②優先的な取り組みの今後の展開 ③西部地区商店街の問題点の把握・対応の必要性 ④各商店街との定期的な情報提供・情報交換、今後の考え方 ⑤商店経営者の意識改革、商工会議所や商連との連携 ⑥空き店舗の最新状況と、問題点の把握・対策 ⑦武蔵境駅前及び周辺地区のイメージづくり ⑧TMO立ち上げによる本市でのメリット ⑨TMO立ち上げの準備状況と今後の見通し ⑩中心市街地活性化、TMO設立などの市民への情報提供充実…などについて行政の考え方、取り組みを質しました。

討論

【6/27(木) 本会議】『有事法制関連三法案の撤回に関する意見書』への反対討論

日本を超越したミサイル実験や武装工作船、国際テロが頻発しています。有事の際、地方公共団体が住民の安全を守るために一定の制限を受け入れ国に協力することは、自治体としての責任とも言うべきもので、いたずらに市民の誤解や不安を煽るこの意見書に反対の討論をしました。

討論

【6/27(木) 本会議】『住民基本台帳ネットワークシステムの稼働の延期を求める意見書』への反対討論

意見書では、住基ネットを“プライバシーの侵害”としていますが、例えば年金番号システムでは住所・氏名・生年月日・性別の住基ネット四情報はもちろん、収入・勤務先・扶養関係・配偶者の個人情報・振込口座番号等も既に一元的に管理されています。高度情報化社会は時代の流れです。住基ネットも、反対の為の反対ではなく、個人情報保護との両立を図りつつ実情を踏まえた建設的な論議がなされるべきです。よって、この意見書には反対の討論をしました。

◎平成14年第1回定例会【3/1(金)～28(木)】

一般質問

【3/5(火) 本会議】『公立小・中学生の学力向上対策』等について…約500年前から庶民にも行われていた寺子屋教育や、明治5年の学制改革以来、世界最高水準を保ってきた我が国の教育も、戦後、教員が聖職者から労働者という意識に変わった頃から学校の荒廃が言われ、そこに登場したのが「ゆとり教育」でした。この施策には、家族で過ごす時間を大切にするという美しい建前の裏には、教員の労務条件闘争の結果という側面もあります。

私は、①基礎学力に対する見解 ②学力低下防止対策 ③学力全国一斉調査の実施状況と今後への反映方法 ④学力の公私格差、塾通いのエスカレート、公立中学校離れ等への認識と対応策 ⑤学校行事、運動部活動のあり方 ⑥総合的な学習の時間の指導方針と指導内容…などについて提言も含めて質問しました。



【3/18(月)~26(火)平成14年度 予算特別委員会】…平成14年度予算は、総額542億円、前年度比9億円、1.7%増で、景気の悪化で市税収入の大幅減も見込まれる中、徹底した内部努力を図りつつ従来からの政策に対しても見直すべきは見直して、新しい時代に求められる市民ニーズに的確に応えながら施策を展開していかなくてはならない大変厳しい予算でした。

歳入では、東京都が打ち出した23区での非住宅地の固定資産税20%減免、地方分権一括法の施行に伴う財源を伴わない事業の移譲など、市民の税への不公平感、本市財政への負担増について、あらゆる機会に是正を求め、税配分の適正化、財源確保の努力を強く要望しつつ、私は…

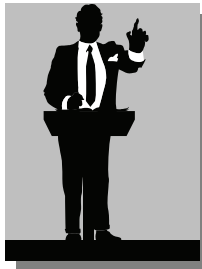
総括 ①23区で実施される固定資産税減免の仕組みとその原資はどこに求めるのか ②23区と三多摩市町村の行政システムの違い ③「市町村合併」都のシミュレーションと市長会の受け止め方は? ④「BSE(狂牛病)対策」正しい知識の普及に一層の取り組みを!

議会費 ①「議員」の情報収集・発信能力強化 ②「会議録」のデジタルデータ確認 ③「会派控室」高速インターネット接続環境の整備 ④「議会ホームページ」情報を迅速正確に ⑤インターネットでの議会のライブ中継を!

総務費①「市提供のCATV番組」ホームページでストリーミング放送を! ②「市報」公益活動に関する情報量の充実を! ③「防犯のポイントとピッキング対策」 ④私立幼稚園、小・中学校の安全対策 ⑤西部地区への「0123施設」設置 ⑥「国際交流事業と国家間問題」 ⑦「旧千川小学校のプール」の今後の計画 ⑧「ヒューマン・ネットワークセンター」ホームページのサイト管理 ⑨「吉祥寺美術館」の管理運営費

民生費 ①「バリアフリーの街づくり」部署間連携の充実を! ②「地方分権一括法の権限委譲」増えた業務と新たに発生した財政負担は? ③「学童クラブ事業」 ④「地域子ども館、土曜日小学校教室開放事業」私立に通う児童については?

衛生費 ①「BSE(狂牛病)対策」市の理解と安全性の市民PRは? ②「クリーンセンターのプラスチック類焼却試験」先行他



地区の試験の情報は? ③市民の党議員の『武蔵野三鷹地区保健衛生組合議会への無届け欠勤』の実態は?

労働費 ①「勤労者互助会」会員数の全体に占める割合と近年の推移および広報 ②「2つのメーデー」補助金は必要か?

商工費 ①「中心市街地活性化とTMO設立」今後の取組みは? ②「路線商業活性化対策委員会報告書」今後の取組みは?

土木費 ①「都市計画道路3・3・6号保谷・調布線」今後のスケジュールは? ②「武蔵野市唯一のムーバス空白地区」武蔵境北口の検討は? ③「武蔵境駅舎」短・中・長期の工事計画は? ④「アジア大通り境2丁目の旧郵政宿舍跡」取得の意向は? ⑤「外郭環状道路」今後のスケジュールは? ⑥車いすに配慮した「街のバリアフリー化」を!

教育費 ①「図書館運営委員会(仮称)」説明と応募状況報告を ②「図書館ホームページ」予約リクエストシステム機能の付加を! ③「図書装備委託料」の内訳を ④「都立図書館多摩分館」機能変更への対処は ⑤「採択組上の各社教科書」市民に公開を! ⑥「都立青年の家4月閉鎖」どうなる安全管理…などについて、行政側と質疑を交わしました。

【3/28(木)本会議】『鈴木宗男衆議院議員の辞職を求める決議』への反対討論

議員の出入進退は、第一義的には本人の良心、その他、憲法に定められた資格争訟の手続きによるか、選挙においての選挙民の選択に委ねるべきもので、確証や判決なき無責任な市議会での辞職要求は単なるパフォーマンスでしかありません。

【3/28(木)本会議】『北朝鮮に拉致された8件11人の真相解明を求める決議』への賛成討論

この段階では、北朝鮮は拉致を認めていませんでしたが、政府は拉致を認定しており、日本は国家主権と人権を守れるかが問われていました。

【3/28(木)本会議】『平成14年度予算』への賛成討論

☆JRより 武蔵境駅『新駅舎デザイン(案)』示される

武蔵野市を東西につらぬく街の大動脈、JR中央線の高架事業が急ピッチで進んでいます。武蔵境駅では、“工事中の仮駅舎”にも南口に昇りエスカレーターとエレベーター、北口と仮ホームにもエレベーターが設置され、いずれも3月~4月には供用が開始されます。

これまで武蔵野市では、市議会に鉄道対策特別委員会を設置すると同時に、甲武鉄道「境停車場」以来の伝統ある武蔵境駅の新駅舎について、“水と緑の調和した明るく開放的な駅舎に!市民の駅は市民の手で!”と、「武蔵境駅舎・広場・街づくり協議会」を結成し、市民参加で様々な要望をJR側に伝えてきました。そして、今回JR側から、ほぼこれまで市民が要望してきたものに合う武蔵境新駅舎のデザイン(案)が出されてきました。

近隣の駅では見たことがない斬新で画期的なデザインで、完成が楽しみです。



《島崎義司プロフィール》

◇昭和41年2月10日武蔵野市境生まれ。(36歳)

◇武蔵野市立二小、六中、拓大一高をへて拓殖大学商学部を卒業。

◇衆議院議員の秘書を9年間勤めた後、実家の食肉卸・加工会社に勤務しながら(社)武蔵野青年会議所など地域活動に取組む。

◇平成11年4月武蔵野市議会議員に初当選。

現在、建設委員会(副委員長)、鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会(副委員長)、議会報運営委員、交通安全対策協議会会員、開発公社評議員、三多摩地域廃棄物広域処分組合議会議員などを勤める。

◇家族は妻:純子、長女:知波6才、長男:叡悟3才



☆市政相談はお気軽にご連絡下さい☆
電話&FAX 0422-54-8180